

1. 開けた草原地帯の中、東西に長い形で佇む平屋の一軒家。
2. 北側の玄関前は木の柵で外界と隔て、外廊下のようにワンクッション置いている。
3. 南側の縁台に腰掛けて、お茶を飲みながら雄大な風景を眺めてくつろげる。
- 4、5、6. 寝室の南東の角はパノラマ風景を望める大きな出窓に。出窓の内側の木戸を閉めればしっかり遮光できる。大工さんの精巧な手仕事がかがえる。

今日という大切な一日に 感謝できる幸せ

帰って疲れた体をゆっくり休め、また明日、安心して出かけていかれる。
そんな当たり前のように当たり前でない
本当の幸福を実感できる心の基地での暮らし。

LIFE STYLE CONSCIOUS HOUSE 好きを極める家 04 高橋建築舎

文／町田美幸 撮影／庄司茂

200本のバラと共に 歩んでゆくために

のどかな田園風景の中、坂道を登って行くと開けた草原地帯に平屋の細長い建物が見えてきた。ご主人自ら「鰻の寝床」と呼ぶように、敷地も建物も東西に細長く、周囲に畑地や草原がゆつたりと広がり、寝室やリビングの窓からは富士山や東南アルプス、金峰山、八ヶ岳など美しいパノラマ風景をぐるりと一周眺めることができる。

「朝起きて、寝室の大きな出窓から風景を眺めていると、『今日一日おまけをもらったな、ありがたいな』という感謝の気持ち自然とわいてくるんです。」

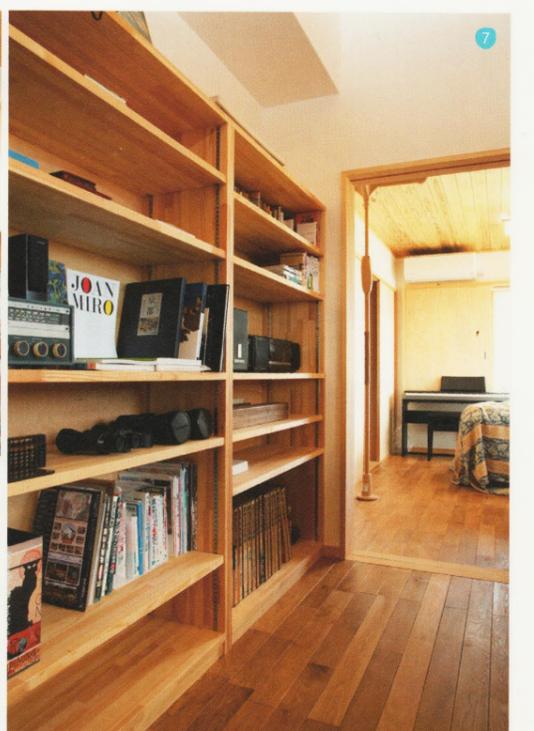
今年1月に米寿を迎えたご主人が、この家と共に過ごす一日一日を愛おしむように楽しんでいる様子が伝わってくる。趣味と呼ぶには余り有るほど本格的なバラの栽培を15年ほど前から手がけ、バラ園のすぐ近くに住居を、と希望したことが新築のきっかけだった。バラの手入れ中心の生活がしやすいよう、家には様々な工夫が施されている。

「バラは正直で手を入れてやれ



ばやるほど良い花が咲く。言葉はなくてもバラと会話しているような気がしてくるんです。家からバラ園までがすぐ近くになったし、作業を終えて戻ってからの動線を良く考えた間取りになっていて、かなり負担軽減になりました。この家は200本のバラ達と共に在ると言ってもいいくらいで、思う存分バラを楽しみながら暮らせています。」





7. 作り付けの書棚はご主人が「歴史の陳列棚」と称し、最初のお給料で購入した二眼レフカメラや日本初のFM放送受信機と試験放送のリスナーカード、図録、本などが展示してある。
 8. リビングに併設の書斎は気ままに作業ができるお気に入りの空間。
 9. 全館床暖房で、廊下にも手すりがあるので安心。
 10. こたわりの和室は、障子など建具のデザインや市松の畳、シンプルな床の間、杉の床柱などディテールにセンスの良さがうかがえる。
 11. キッチンから大きな北窓からは柔らかな光が差し込む。キッチンカウンター兼用のダイニングテーブルも、もちろん大工さんの手作り。
 12. 洗面脱衣所やトイレなど湿度やすい場所は抗菌効果の高いヒノキの壁に。
 13. 玄関と部屋を隔てる扉は擦りガラスなので玄関に明かりが届く。格子のデザインがおしゃれで来客の目を引く。

日本文化の 粋な心をうかがわせる センスの良さ

バラの栽培の他にも絵画や陶磁器などの美術品鑑賞、登山、パソコンでの作業など趣味が多様なご主人。特に美術に対する造詣はとて深いです。

「高橋建築舎さんには以前、バラ園に休憩小屋を作っていただけで、仕事は申し分無いと分かっていたので、今回も安心して細かいことはみんなお任せをお願いしました。寝室の出窓の木が少し割れてしまったところがあるので、そこを補修する際に塗ったり隠したりするのではなく、木のくさびで留めるというセンスや考えにとても感心しました。日本文化の特徴には否シメトリックであること、空白・余白があること、そしてちょっと笑わせる遊び心があることが挙げられると思うのですが、高橋さんの心にはそういった感性が宿っていると感じ、とても共感します。この家の木の天井の様子も、どこか桂離宮の新御殿の間を彷彿とさせて大変気に入っています。仕上がった天井を見てデザイン感覚の良さに感心し、私からこうしてほしいと特に注文したわけではなかったのに驚いてしまったほどです。」

リビングと書斎は本棚で仕切る程度で行き来がしやすく、思い立った時にすぐにパソコンに向かったり、カタログや美術書を開くことができる。

大工さんの腕の見せ所

家の中は部屋ごとの仕切りがニュートラルで、東から西まで全体を見渡すことができ、風が通り光

Favorite Point Of THE OWNER

ウォークイン シュークローゼット

バラの作業から帰宅して、泥で汚れた作業着を玄関で脱いでクローゼット内のハンガーにパッとかけてお風呂場まで直行できるので何より便利です。



HOUSE DATA & FAVORITE POINT

- 所在地: 北杜市長坂町
- 家族構成: 大人1人
- 間取り: 2LKD
- 竣工: 2016年11月



Favorite Point Of HOUSING MANUFACTURERS

寝室の大きな出窓



四方に眺望が開けた素晴らしい開放感を寝室から充分に味わっていただけるような出窓を作りました。木戸を閉めれば外光を遮断できます。無垢の木で大工が丹念に仕上げました。

(有)高橋建築舎 / 代表取締役
高橋 敦

Favorite Points Of 晴耕雨読

無垢の木の天井



無垢の杉材を贅沢に用いた天井は重厚感があり、品格のあるモダンなデザインに目を奪われます。片流れて吹き抜けのような開放感が気分をリラックスさせてくれます。

晴耕雨読 / ライター
町田 美幸

願いはひとつ、 家族のしあわせ

ご家族の思いや暮らしのあり方と真正面から向き合い、「どれだけ幸せに住み続けていただけるか」を大事に考え、「本当に必要な家」をご提供することに努力しています。

お客様のライフスタイルにあわせて
4つのタイプをご用意。
すべて完全自由設計でプランニングします。

シンプルデザイン

ベビー無垢デザイン

無垢デザイン

ティンバーフレーム
デザイン

もっと詳しく知りたい方は [高橋建築舎](#) [検索](#)

有限会社 高橋建築舎 高橋 敦

山梨県北杜市大泉町西井出8240-6959
TEL 0551-38-8151 / FAX 0551-38-3979

がやわらかく行き届くイメージだ。新建材やビニールクロスは使用せず無垢の木と漆喰で仕上げた家ならではの自然な優しさで落ち着いた趣が心地よい。一つ一つ手仕事で大工さんが作っていったことが実感できる細やかな仕上げが随所に見られ、まさに家「軒まるごと」「大工さんの腕の見せ所」といったところだ。脱衣所、トイレ、洗面、押し入れ、食品庫など湿度対策の必要なのは、壁や内装を無垢の木で仕上げ、ベニヤ板は使用しないのが高橋建築舎の方針だ。

「ご主人からはあまり細かいご

要望は無くしてお任せの部分が多かったのですが、基本的な考えとして、バラの手入れをして夕方遅くに疲れて帰ってきて体が休まる家であること、高齢なのでお一人でも自由なく暮らせること、そして細長い形ですがあまり距離感を感じさせず全体を一つの空間と捉えられるように、という点を中心に家作りを進めました。」

お施主さんの幸せを一番に考える工務店が「お任せ」に対して誠意を尽くして臨んだ結果が、お施主さんの心に自然に受け入れられフィットしていることが感じられた。